

東日本大震災によりわが県の高等学校が受けた被害と その後の回復の状況等について

想像を絶する巨大地震と津波による甚大な被害から、1年と3ヶ月が過ぎようとしています。宮城県では沿岸部と内陸部との被害の大きさが激しく一概には言えませんが、多くの高等学校においては、今年度は例年通りの日程で行事等も進められており、落ち着きを取り戻した感があります。今回は特に、被害程度の大きかった沿岸部3校の状況についてお知らせします。

宮城県水産高等学校の現状

教頭 佐々木武弘

本校は東日本大震災により、直前に卒業した生徒と在校生が津波の犠牲となったほか、校舎1階が水没し、そのほとんどが使用不能となった。地盤沈下の指摘があるように震災直後から、潮の干満による校地内への浸水が始まり、潮位が高い日には満潮時に校舎1階まで浸水するようになった。この状態のまま現地での授業再開は困難と判断され、県教委の指示で市内内陸部の石巻北高校へ学習拠点を移すこととなった。

平成23年5月9日から、同校のグラウンドに建つ仮設校舎を利用して学習している。当初から実習設備が無いため、水産本来の実習は元の校舎へ移動せざるを得ない状況であった。このため、クラス毎に曜日を決めて実習を割り振って実施している。更に今年度は施設等が復旧できず実施できなかった様々な実習を、市内の工業高校や他県の水産高校へ出向き体験的な実習時間を確保することになっている。

震災から既に1年以上が経過した。学校では工夫をすることで学習内容を保証できるが、生徒の多くは被災により生活が大きく変化している。その生徒が安心して学習に取り組めるよう学校として配慮していくことも重要であると考えている。

宮城県気仙沼向洋高等学校の現状

教頭 狩野 秀明

本校は、海岸からわずか500mの場所にあったため震災による津波の被害を直接受け、校舎及び実習施設をはじめとする教育施設の全てを流失しました。地震発生時は、生徒約170名ほどが校内におり、様々な情報が交錯する中でしたが、約2km離れた高台にある中学校に無事避難することができました。

昨年度の始業は、5月9日から近隣の3つの県立高校に学科ごとに分かれて開始しました。その後、同年11月からは、気仙沼高校の第二運動場に建てた仮設校舎に震災以来8か月ぶりに学校が1つとなって、教育活動を再開させました。

本校は、情報海洋科・産業経済科・機械技術科を有する専門高校ですが、実習の施設設備がまだ整っておらず、情報海洋科は寄贈された小型船舶の利用や企業から協力を得たり、また、産業経済科は隣県の水産高校の実習施設を宿泊しながら借用し、さらに機械技術科は約50km離れた工業高校の施設を毎週借用したりしています。部活動においては、体育館がまだなく校庭も狭いため、近隣の県立高校や特別支援学校を共用させてもらっています。

本校はまだまだ不十分な教育環境ではありますが、工夫をしながら生徒の学びの保障と充実を図り、将来を担う産業人材の育成に向けて、教職員一同努力していく覚悟でありま

すので、関係各位のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



宮城県農業高等学校の現状



教頭 後藤 武徳

本校は、東日本大震災の大津波によって約32haの校地が壊滅的な被害を受けました。この1年、日本のみならず世界中の多くの人たちから支援や励ましの言葉をいただいたことに感謝申し上げます。多くの人に支えられているという思いが混沌とした状況乗り越える大きな原動力となり、その成果が進路決定率100%として現れ、ひいては入学希望者の激減が心配された入試の定員確保につながりました。

現在、宮城県農業・園芸総合研究所内にある農業大学のグラウンドに設置された仮設校舎で昨年9月から授業を行っています。研究機関の中にあるメリットを生かし、地域の課題解決に真摯に取り組む研究者の姿勢に触れるとともに、農業を志す農大生との交流をとおして、地域振興に貢献する志を持った生徒の育成につながるものと確信しています。

今年1月、県教育委員会から本校については名取市内西部での再建を目指し、平成29年度末完成を目途に新校舎の建設を進めるという発表がありました。今年度の入学生は仮設校舎に入学し仮設で卒業することになりますが、教育環境を着実に整備し、不足している部分については民間企業等と連携を図り授業内容の充実を図る取り組みを行い、宮農に入学した生徒に充実した高校生活を提供できるよう職員一同頑張っています。



最後に、県教委のH24・4/17発表によれば、今回の大震災では高校関係だけで高校生及び教職員の死亡・行方不明者の人的被害は94名、教育施設の被害状況は91校、被害額は279億円となっています。被災した生徒への経済的支援、「心のケア」のための人的派遣、そして各高等学校への支援等、全国の学校関係者の皆様より心温まる多くのご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

宮城県仙台第一高等学校 教頭 鈴木 茂幸